

## 2024 年度 学位記・修了証書授与式 祝辞

東京理科大学を卒業、修了される皆さん、おめでとうございます。学校法人を代表しまして、心からお祝い申し上げます。

皆さんは、友人や先輩、教職員など、沢山の人々に支えられながら、学部生あるいは大学院生、専攻生として、時に困難な環境においても、多くの努力と研鑽を積み重ね、本日、本学のそれぞれの課程を修了され、学位記、修了証書を授与されることとなりました。その途上において直面したであろう数々の課題を見事に乗り越え、今日の良き日を迎えられた皆さんに敬意を表します。

また、これまで長い間、皆さんを温かく見守ってこられた、ご家族の皆様にとりましても、この卒業・修了が大きな節目であり、皆さんがここに力強く歩みだす姿を見て、大変喜んでおられることと思います。改めてお祝い申し上げます。

歴史を遡ってみますと、東京理科大学は明治時代が始まったばかりの1881年に、皆さんとほぼ同じ年頃の21名の若き学徒たちが、私財を投じ幾多の困難を乗り越えてその前身を創設しました。現代風に表現するならば、大学を卒業した若者達が起業して理学を学ぶ学校を設立したわけですが、その動機は個人の利益などではありませんでした。社会基盤が大きく変化を遂げる激動の時期に、彼ら自身が当時国内に存在した唯一の大学で学ぶ機会を与えられたことに感謝し、その恩義に報いるために、また、科学と技術の普及こそが国の繁栄と発展を促進させるカギとなるのだという、高い志と熱い想いがその原動力となったのでした。

開校当初はわずか20人の学生が学ぶ小さな学校だった理科大は、それから140年以上にわたる数多くの先人達の尽力により、今日では2万人を超える学生が在籍する我が国随一の理工系総合大学へと大きく成長し、日本を代表する大学の一つと目されるまでになりました。

理科大の教育といえば、「実力主義」であるということが広く知られていますが、これは大学創設以来の伝統であり、高い専門性と共に、科学的に思考する論理性や豊かに発想する創造性を身に着け、社会に貢献する真の実力を備えた人材を育成する、そんな質の高い教育が代々受け継がれてきました。本学の卒業生は今日までに約23万人を数えるまでになりましたが、教育、産業、行政など多岐にわたる分野で活躍し、科学技術立国としての日本の成長を支え貢献してきました。本日から皆さんも、この伝統ある同窓ネットワークの一員に加わることを心

より歓迎したいと思います。

我々理科大は、いよいよ6年後の2031年に創立150周年を迎えます。この節目を迎えるにあたり、「世界の未来を拓く TUS(Tokyo University of Science)」をスローガンに掲げ、学部学科再編やキャンパス再構築など、本学の強みや魅力をさらに強化し発展させる様々な取り組みを行っているところです。

この「世界の未来を拓く」という言葉には、幾重にも考慮された意図が込められています。例えば人材育成の観点で言うと、皆さんが国内外で自分の持ち味を生かして活躍するというのはもちろんですが、どこにおいても広く国際的な視点を持って世界が抱える様々な課題に積極的に挑戦する、そんな高い志を持って行動できる人となって欲しいと私は考えています。

アメリカのウォルト・ディズニーの言葉に、次のような一節があります。

“夢を追い求める勇気があれば、すべての夢は叶う。  
その秘訣は、4つの「C」にまとめられる。それは、「Curiosity – 好奇心」  
「Confidence – 自信」「Courage – 勇気」そして「Constancy – 継続」である。”

ディズニーは苦勞して創業した会社が倒産する度に希望を打ち砕かれ、困難な状況に直面しましたが、それでも諦めずに夢を追い続けました。そして、粘り強く努力を重ねることで、夢は叶うのだということを身をもって体現し、大成功を収めたのです。

ここで大切なのは、何事であれ、まずは夢を持つことが成功への第一歩だということです。最初のきっかけは、ほんの小さな好奇心かもしれませんが、自分ならではの好奇心から生まれた夢を大切にしてください。そして、良くない状況が続いて失敗を繰り返すことがあっても、ぜひ自分を信じて、夢に向かって何度でも挑戦する勇気を持ってください。諦めずに努力を続ける皆さんには必ずや大きな成功が待っていることでしょう。

今後、日本の労働力人口が減少する中において、日本経済の成長分野をさらに強化していくためにも、理系人材の拡充が社会から求められています。特に、本学で培われた確かな専門知識に基づいた豊かな経験や想像力を持つ皆さんには、主導的な役割を担うことが期待されているのです。是非、本学で学んだことに自信と誇りを持って自分の課題に立ち向かい、夢と共に日本の、そして世界の未来

を切り拓いていって下さい。我々理科大も、一層高い水準の教育や研究を行うことを目指し、皆さんと一緒に挑戦し続けてまいります。

最後に、皆さんが健康に留意され、これからの人生において心豊かで素晴らしい日々を過ごされることを祈念して、私のお祝いの言葉といたします。本日は誠に  
おめでとうございます。

2025 年 3 月 18 日  
学校法人 東京理科大学  
理事長 浜本 隆之